

令和5年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	大学公開実習 B (海洋環境生態学)		
実習内容	<p>(状況により予定が変更される場合がある。以下の URL などで確認する事)</p> <p>(1) マリンステーション周辺の干潟や潮下帯で採集した堆積物中からバクテリアや線虫類などのメイオベントスを抽出し、顕微鏡などを用いて観察し、これら微小生物相と海底環境の相関を調べる。さらに活性染色法を用いて、海底堆積物中におけるバクテリアの生理状態を視覚的に観察する。</p> <p>(2) 八代海を南北に横切る測線に沿って、水温・塩分などの水平・鉛直分布を調べ、海洋環境とプランクトンの群集組成との関係を、解析ソフトを用いて調べる。赤潮原因プランクトンや動物プランクトンを生物顕微鏡や電子顕微鏡を用いて観察する。</p> <p>(3) その他、海産クマムシやウミホタルの採集や観察も行う。天候に恵まれれば、有明海のミナミハンドウイルカや底魚の生態観察も行う予定である。</p> <p>※詳しい実習内容や持ち物等については実施要項や、下記のホームページを確認すること。 なお、これらの実習内容は天候などによって、臨機応変に変更する場合がある。</p>		
実習内容キーワード	八代海, 有明海, 干潟, 海洋環境, 植物プランクトン, 動物プランクトン, 赤潮, バクテリア, メイオベントス, クマムシ, ウミホタル, ミナミハンドウイルカ		
担当教員氏名・所属・役職名	逸見泰久・水循環センター・教授, 嶋永元裕・水循環センター・教授, 山田勝雅・水循環センター・准教授, 田中源吾・水循環センター・准教授		
協力教員氏名・所属・役職名	和田実・長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科・教授 一宮睦雄・熊本県立大学環境共生学部・教授		
対象学生・学年	学部 1~4 年生	開講期間	2023/9/1 (金) ~9/7 (木)
開講大学・施設名	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 合津マリンステーション		
施設の住所	〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061		
電話	0969-56-0277	Fax	0969-56-3740
e-mail	publect-ams@kmm.kumamoto-u.ac.jp	Web Site	https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/
交通案内	熊本市内の熊本桜町バスターミナル, または J R 熊本駅前から, 天草 (本渡) 行きのバス (あまくさ号) に乗車し「前島」下車。徒歩 5 分。あまくさ号は 1 時間または 30 分間隔で運行。熊本駅前から約 1 時間半。空港からは桜町バスターミナルで乗り換える。		
費用	8,000 円程度 (食費・宿泊費など)		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2	定員数	12
授業料の徴収について	公・私立大学の学生が単位取得を希望する場合は授業料を徴収する。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。参加申込時に合津マリンステーションにも上記の電子メールアドレスで連絡をすること (緊急連絡などに使用)。なお定員に達しない場合は、追加募集を行う。申し込み締め切り: 2023/8/11 (金)		
選抜結果連絡法	所属大学事務へ通知 (通知前に上記メールへの問い合わせ可)		